

Otemae Winds



[大手前ウインズ]

No. 49

2026年9月



興味は、 つぎのワクワクの チカラ

Special Interview

「情報学×好きなこと」で、
世の中をもっと楽しく豊かに。

大手前大学 現代社会学部 准教授

寺脇 由紀

Close up! それぞれの挑戦

多彩な学びも、さまざまな活動も、
すべては成長の力

大手前大学 現代社会学部 3年生

ITサポートデスクスタッフ他

松元 遥斗

医療系で働くという
幼い頃からの夢にまっすぐ

大手前短期大学 医療事務総合学科 2年生

学生スタッフTOT(トット)副隊長

玉田 花恋

「情報学 × 好きなこと」で、 世の中をもっと楽しく豊かに。

2027年4月の開設が迫る「人間情報学部」。

人間情報学部設置準備室メンバーとして活躍しているのが
現代社会学部の寺脇由紀准教授です。

情報を軸に、理系・文系の枠を超えた学問分野を融合させる
学際情報学の研究活動にはじまり、

これまで教育や芸術、建築、都市計画など

異分野とのコラボレーションで新たな仕組みをつくり社会に貢献。

AIをはじめ情報技術があたり前となった時代だからこそ、

人間情報学部の意義や学び、抱負を寺脇准教授にうかがいました。



異分野とのコラボレーションで 真の力を発揮する情報学

情報学には、数学やコンピュータといった少し堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、実際はそれだけではありません。たとえば、スティーブ・ジョブズはカリグラフィを学び、それをApple製品の文字や画面の美しさに生かしました。また、「AIの父」アラン・チューリングは生物学から、「世界初のプログラマー」エイダ・ラブレスは音楽から着想を得るなど、先人たちは他分野の知見をITと融合させることで「新たな価値」を生み出してきたのです。異分野との掛け合わせによってこそ真価を発揮する——それこそが情報学の面白さだと考えています。私自身、幼少期から音楽、絵画、建築、など多岐にわたる分野に親しんできた経験が、現在のマルチタスクな活動につながっていると実感しています。大切なのは、自分の「好き」や「興味」を諦めないこと。ジョブズの言葉にあるように、過去の知見という「点」はいずれつながって「線」となり、新たな価値を生み出すチカラとなります。

世の中をもっと楽しく、 豊かに変えるための新たな挑戦の場に

異分野とのコラボレーションが、どこよりもシームレスかつ自然に展開できること——それこそが大手前大学の最大の魅力です。新たに誕生する人間情報学部は、多岐にわたる専門性を持つ教員や学生のみなさんをはじめ、さまざまな人や知識、技術などが交差する「ハブ」の役割を担う学部になると思います。現在の社会には情報技術が隅々にまで組み込まれていて、誰もが日常的にAIを活用する時代になりました。情報技術も洗練され、例えば「動けばいい」「計算できればいい」ではなく、心地よさや使いやすさといった人間の感情や感性に寄り添う視点が欠かせません。これからは単なる技術者としての視点だけではなく、幸福で豊かな生き方や暮らし、そして社会に貢献できる人材が必要です。人間情報学部は、建築、観光、心理学、芸術など多様な領域と情報学を掛け合わせ、新たな人材・技術・仕組みを育む挑戦の場になると思います。人間情報学部を通して大学自体を進化

異分野コラボレーションの試み！

情報学 × 観光マネジメントで生み出す地域価値創造の新しいカタチ

現代社会学部 観光・地域マネジメント専攻の海老教授のゼミに、私の情報・コンピュータ専攻のゼミ生たちを参加させていただきました。海老教授は西宮市の商工課と連携し、カフェや酒蔵など地域の魅力（テロワール資源）をまとめたリーフレットを作成されています。私たちはそこにITの力で協力し、さらなる発信力向上や回遊性を高める仕組みづくりをお手伝いしたいと考えています。こうしたコラボレーションを通して学生たちが新たな気づきを得て、ソフトウェア開発がより実感を帯びたものになることを期待しています。この実感を伴う学びのプロセスを、新設される人間情報学部へとつなげ、さらに大きく発展させていきたいと考えています。



海老ゼミと合同でコーヒーの試作をした際のゼミの様子

寺脇 由紀

Terawaki Yuki

大手前大学 現代社会学部 准教授

[研究分野] ソフトウェア工学・教育学

[研究テーマ] 次世代型プログラミング
教育環境の開発 / 英語教育
環境の構築 / 地理情報
システムを用いた社会実装

させ、地域や未来をより良く変えていく存在にしたいですね。

新たな出会いや発見を ワクワクしながら学んでほしい

人間情報学部では、AIをはじめとする最新技術や機器を使いながら学ぶ環境が実現されます。この環境を生かして「肌で感じながら学べる」を実践していきたいと考えています。例えば、すでに現在、観光・地域マネジメント専攻の海老教授とのコラボレーションを進めています。地理情報学や、AI技術、Web技術や、LINEミニアプリ、さらには、3D都市モデルとXR技術を組み合わせた「Torinome」というソフトウェアを使用し、海老教授が進められている地域観光促進をサポートする構想です。私のゼミナールでは、地域密着型の大学として、地元への理解を深めるフィールドワークも重視しています。「人間に寄り添うIT技術×地域価値創造」という視点を持つことで新しい発見が生まれ、実感を伴う研究活動やソフトウェア開発

につなげたいですね。単に「勉強、勉強」と机上の論理にとらわれる必要はありません。人間情報学部では、最新機器に触れながらさまざまなことに挑戦し、楽しんで学びを進めてほしいと思っています。私がこれまで異分野の方々と共に創し、体感してきた相乗効果を、ぜひみなさんと一緒に実現できることを楽しみにしています。



2027年春 人間情報学部 & 人間情報学部棟[EX棟]が誕生！

※2027年4月開設

※2027年6月竣工予定

西宮夙川キャンパス初の理系学部となる人間情報学部。従来の情報学の枠を超え、「情報技術」に「感性」や「デジタル表現」を融合させて、人にやさしい未来のデザインをめざします。文系・理系どちらの関心にも応えられる文理複眼型のカリキュラムと、学部や分野を超えた多様な出会いが生まれる発見やときめき。そんな新時代の学びを形にするための実験的空間、それが新たに誕生する「人間情報学部棟[EX棟]」です。先進の機能と設備を備え、人々のウェルビーイングな未来に向けて、いよいよ動き出します。

■EX棟の先進の機能と設備

- ◎思考を形にする「デジタル・ラボ」空間「デジタルファクトリー」
- ◎多様な視点が混ざり合う、知のプラットフォーム「200名収容教室」
- ◎没入型4面大型スクリーン全方位スタジオ「イマーシブスタジオ」

- ◎約120名収容の多目的プロジェクトルーム「プロジェクトラボ」
- ◎人の心や感性、視線や反応を科学的に捉える実験室「心理実験室」
- など

建物全体イメージ



Close up! ~それぞれの挑戦~



多彩な学びも、さまざまな活動も、すべては成長の力

理想的な学びの環境のもと、 もっと自分の可能性を探求していきたい

大手前大学 現代社会学部3年生 ITサポートデスクスタッフ他 松元 遙斗さん

自分に最適な学びの 環境を求めて

僕はもともと高専に通っていました。ただ、高専の学びと実際にやりたいことにギャップがあり、また通学アクセスを含め学びの環境も合っていないと感じていました。僕にとって学びの環境は「勉強する土台」、とても重要なことなんです。そこでもう一度、何をやりたいかを考え直し、立地やアクセス、最新の設備など最適な学びの環境を探している中で大手前大学を知り、受験し入学しました。今はこの選択が正しかったと満足しています。



興味あることを自由に学べる。 だから自分の可能性に気づける

この大学の一番の魅力は学びのクロスオーバーです。興味あることにトライできるから、自分に合う合わないを肌で感じたり、新たな自分を見つけたり、自分の世界観がどんどん広がるのを体感できます。僕の場合、「絵を学びたい」と思い建築&芸術学部の授業を受けました。結果として絵の道は合わないと分かりましたが、資料



づくりにデザイン意識が芽生えるなど、自分の学びへよい化学反応が生まれました。また、資格取得をサポートする授業を学部・学科関係なく受けられるのもありがたいこと。学校全体で資格取得を後押ししてくれていることを実感しています。

さまざまな学内の活動も 成長にプラス

ふだんは、空いた時間を利用して学内でいろんな活動をしています。現代視覚文化研究部の部長としてボードゲームで遊んだり、生協学生委員会のメンバーとして生協と学生間をつないだり。他にもITサポートデスクのスタッフや授業のSA（スチューデントアシスタント）、アカデミックスキルや学びの道しるべでのサポート役なども。こうした活動は、学年を越えたつながりができたり、伝え方の勉強にもなり、僕自身にもプラスになっています。

ゼミは刺激と楽しさでいっぱい。 想像以上の面白さ

現在、情報・コンピュータ専攻の寺脇先生のゼミで学んでいるのですが、とにかく想像以上の面白さ。学内での授業にとどまらず、企業への訪問など学外に出ることもあり刺激がいっぱいです。特にフィールドワークは地域密着を目的に取材までするなど、今進めているプロジェクトを動かすための新たな着想にもつながって、本当に新鮮です。また、観光マネジメント専攻の海老先生のゼミとのコラボレーションも楽しく、ゼミの垣根を越えてお互いにやり取りしています。大手前大学でもっといろいろな体験しながら自分の可能性を広げて成長したいですね。



こんな活動を
しています！

ITのこと、なんでもお手伝い

今、学内アルバイトとして、E棟3Fのラーニングコモンズ内でITサポートデスクのスタッフをしています。パソコンの使い方やネットワークのことから、パソコンを使った授業での困りごとや機器のトラブルまで、ITに関することに幅広く対応。緑のハッピを着ていますので気軽に声をかけてください。



医療系で働くという幼い頃からの夢にまっすぐ

たくさんの人や学びとの出会いで

楽しく成長。

学校での経験を、次は就職先でも。

大手前短期大学 医療事務総合学科 2年生

学生スタッフTOT(トット)副隊長 玉田 花恋さん



医療系で働くという 夢に近づくために

幼い頃から将来は医療に関わりたと思っていました。その理由は、いどこに看護師がいたこと、体質が弱くて通っていた病院の先生や看護師の方と仲よくなって楽しかったことなど、物心ついた時から医療を身近に感じていたから。高校で進路を探している時、医療事務という仕事を知り「これだ」と直感。専門学校ではなく短大や大学で学びたいと思い、医療事務を専門的に学べ、いろんな資格取得のサポートも充実しているなど、幅広く学べると感じた大手前短期大学に決めました。

好きな授業を 集中して学べる環境

短大の短期間で好きな授業を集中して学べる環境は私にぴったりで楽しいです。医療事務総合学科では、レセプト(診療報酬明細書)の作成や医師事務作業補助者に必要なカルテなど専門



的なことを学んでいます。特に私はレセプトの授業が好きで、とてもいいのでわかりやすいため、次はもっと難しいことも学びたいという意欲も出てくるくらい。また、すでに医療秘書2級と看護助手の資格も取っているのですが、今、電子カルテの資格試験に向けて勉強中※。こうした資格取得をサポートしてくれるのもありがたいです。※試験は8月に実施されています

幅広い学びを自由に選べるから、 楽しみながら成長できる

専門的な学びだけではなく、他の学科の授業など幅広い学びを、自由に選んで学べるのもこの大学のいいところ。新たな可能性や自分に合った進路が見つけられると思います。私は医療事務の他に、看護助手や心理学、歯科の事務やワード・エクセルの授業などを受け、新たな世界が広がった感じで、秋からの調剤事務の勉強も楽しみにしています。また、同じ専門的なことを学ぼうと思っている人が多いので、話の合う友達と出会えたこともうれしいことの一つです。

第一志望に就職が決定！ 夢が実現できました

6月1日(月)に第一志望の大阪市内の大手総合病院に就職が決まりました。内定書をもって、その日はウキウキ。幼い頃からの夢が実現できました。就職先では絶対、入院のレセプトに関わりたくたいです。2日に1回は通ったキャリアサポート室には本当に感謝しています。面接時の受け答えや就職の指針など私に寄り添ったアドバイスは大変役立ちました。こうした強みも大手前短期大学の魅力だと思います。仲のいい友達もみんな同様で、全員就職が決まり、今、卒業旅行をどこに行こうか、盛り上がっています。



TOTの副隊長で苦手を克服!?

TOTでは、オープンキャンパス時などで学校案内や授業体験をお手伝いするのですが、以前は人前で話すのが苦手でした。でも副隊長を任せられ頑張ってみようと。最初は原稿から目を離せなかったほど緊張。でも回を重ねるうちにみんなを見ながら話せるようになり、少し成長したかな。就職先でもチーム医療などに役立てたいと思います。

こんな活動を
しています!



【現代社会学部・地域連携】白鹿記念酒造博物館で 学生が館内ガイドとして参加

2月14日(土)、白鹿記念酒造博物館(西宮市鞍掛町)で開催された「大手前大学生に『伝統的造り』を聞いてみよう」に、現代社会学部・観光・地域マネジメントのゼミ生13名が参加しました。本企画は2年連続の開催で、学生が手作りパネルを活用しながら灘の酒造りの魅力を来館者に案内するイベントです。当日は新酒の蔵開きも重なり、多くの来館者でにぎわう中、学生たちは酒造りの工程や震災遺構の展示などを担当し、オリジナルクイズを交えながら見どころを紹介しました。昨年から参加している学生は説明にもいっそう磨きがかかり、来館者との会話を楽しむ姿も見られるなど、ゼミ活動を通じた成長が感じられました。また、5カ所すべてのクイズに参加した方には、TAOCA COFFEEとの共同開発によるゼミオリジナルブレンドコーヒーのドリップバッグをプレゼント。西宮が誇る酒とコーヒーの魅力を発信し、地域と大学の連携を実感する一日となりました。



【国際看護学部】 大阪マラソン2026の救護ボランティアに参加

2月22日(日)に開催された大阪マラソン2026で、国際看護学部1~4年生の学生26名が救護ボランティアとして活動しました。学生たちは、全18カ所の救護所のうち4カ所に配置され、救護や休息を必要とするランナーの受付業務を担当。早朝から救護所の設営や備品の準備、ミーティングを行った後、レースが始まると、体調不良や休息を希望するランナーをテント内へ案内し、受付簿への記録や水分補給の呼びかけなど、安全な大会運営を支える役割を果たしました。参加した学生からは、「ボランティア活動を通して、看護者に必要なスキルや多職種連携の重要性を学べた」との声が寄せられ、看護の現場を体験する貴重な機会となりました。本学部では、今後もこうした活動に継続して参加し、実践的な学びを深めていきます。

参加した学生の声

迅速な判断力や応急対応、チーム連携の重要性を学び、救急看護師をめざす思いを強めました。

医療職や行政、消防、自衛隊、他大生と一緒に活動できたので、多くの学びと貴重な経験を得ました。



建築&芸術学部学生の作品を 「ベーカリーレストランサンマルク神戸学園都市店」 にて展示

5月29日(金)、本学はサンマルクグループの創業ブランドであるベーカリーレストランサンマルク(BRサンマルク)との産学連携に関する包括協定の第1弾として、「BRサンマルク神戸学園都市店」(神戸市西区)で、建築&芸術学部の学生による作品展「ミライの画家×レストラン展」を開始しました。本展では学生作品14点を展示し、多くの人が訪れるレストランを作品発表の場とすることで、学生の創作活動を社会へ発信するとともに、地域の方々在日常の中でアートに触れられる機会を創出しています。オープン当日は記者発表が行われ、作品を提供した学生・卒業生が展示を案内しました。今後は作品の定期的な入れ替えに加え、地域住民向けの芸術・文化ワークショップや作品販売なども検討しております。これらの活動は、本学の学びの特長である「クロスバウンダリー(越境学習)」を体現するものであり、学生たちにとって自分の芸術作品と社会とのかかわりを学ぶことのできる絶好の機会となります。



【建築&芸術学部】映像・アニメーション専攻の学生が、 芦屋市第5次総合計画後期基本計画を 説明する動画を作成

6月12日(金)、建築&芸術学部 映像・アニメーション専攻ゼミ(今西ゼミ・和田ゼミ)の学生が企画・制作した、芦屋市「第5次総合計画後期基本計画」の紹介動画が芦屋市ホームページで公開されました。本取り組みは、芦屋市との包括連携協定に基づいて実施されたもので、学生は芦屋市政策推進課によるオリエンテーションで、総合計画の概要や市が抱える課題、「子育て・教育」「福祉健康」「市民生活」「安全安心」「都市基盤」「行政経営」の6つの施策分野について学び、グループごとに映像制作を進めました。完成した動画は、実写と手描きアニメーションを組み合わせたニュース番組風の構成で、オリジナルキャラクター「マイク」と「あしやん」、さらに芦屋市ゆかりのキャラクターが登場し、親しみやすい掛け合いを通して施策の内容を分かりやすく紹介しています。撮影は市内各所で行われ、芦屋市政策推進課からの助言や高島芦屋市長の確認を受けながら完成しました。学生にとっては、クライアント(芦屋市)との映像制作を通じ、企画立案から調整、完成までのプロセスを実践的に学ぶ貴重な経験となりました。ぜひご覧ください。

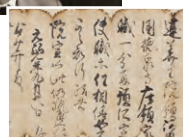


動画はこちらから
ご覧ください



大手前女子大学 初代学長 中村 直勝博士の古文書コレクションの展覧会開催 国際日本学部史学コースの学生が見学

6月28日(日)、国際日本学部 石畑匡基講師(日本中世史)の授業の受講生10人が、大和文華館(奈良市)で開催された特別企画展「古文書の魅力〜没後50年 中村直勝と双柏文庫〜」を見学しました。本展は、5月30日(土)から7月7日(火)まで開催され、日本古文書学・日本中世史学の権威であり、大手前女子大学(現大手前大学)初代学長を務めた中村直勝先生が生涯にわたり収集した「双柏文庫」の古文書約70点を展示。源義経や足利尊氏、豊臣秀吉、伊達政宗ら歴史上の人物の直筆書をはじめ、展示順路の最初には、1966年中村博士が初代学長として就任された大手前女子大学(現大手前大学)の開学式典での学長式辞や第一回卒業式の式辞原稿なども展示されており、学生たちは興味深そうに見入っていました。当日は、大和文華館の一本崇之氏による解説を受け、中村先生が古文書を史実の記録としてだけでなく、過去に生きた人々の思いや息づかいを伝える資料として大切にしていたことを学びました。学生たちは貴重な史料を間近に鑑賞し、古文書の歴史的・文化的価値への理解を深める機会となりました。



【経営学部】神戸市小売市場連合会の新春懇親会で 学生がプロモーションビデオを発表

1月29日(木)、オリエンタルホテル神戸で開催された「令和8年神戸市小売市場連合会新春懇親会」において、経営学部・常員副学部長の「流通マーケティング」の授業で学生が制作した神戸市小売市場のプロモーション動画が披露されました。授業では、神戸市小売市場連合会事務局長・小林清美氏をゲストスピーカーに迎え、小売市場の現状や課題について学んだ後、「小売市場のプロモーション動画」の制作に取り組みました。最終講義の結果により選ばれた4グループ4作品は、若者目線で市場の魅力を発信する内容で、実際に市場を訪れて撮影・取材を行うなど工夫を凝らして制作されました。当日は、神戸市今西正男副市長や市場関係者の前で作品を上映し、「若者ならではの視点が参考になった」との講評を得ました。作品は神戸市小売市場連合会のYouTubeチャンネル「いちば PROUD RADIO」で公開され、短期間で400回を超える再生数を記録するなど、地域の魅力発信に貢献しています。



取り組み
学生

【経営学部】遠藤 嵩大、
関口 史華、仲 颯、西脇 拓生、
福嶋 瞳子、山口 美咲

「いちばPROUD RADIO」に
アクセスしていただき、
Q「いちばPROUD 大手前大学」で
検索してください



【国際日本学部・通信教育部】日本語教育シンポジウム —日本語教員のミライを考える—を開催

5月17日(日)、西宮夙川キャンパスで「日本語教育シンポジウム—日本語教員のミライを考える—」を開催しました。当日は、日本語教育に関心を持つ学生や教員、日本語教員をはじめ、全国各地で活躍する卒業生など多くの参加者が集い、活発な交流が行われました。シンポジウムでは、「日本語教員のミライ」をテーマに、日本語教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、これからの日本語教員に求められる役割や可能性について、多角的な視点から考える場となりました。基調講演では、野田尚史先生に「国家資格『登録日本語教員』と日本語教員のミライ」と題して、日本語教育の最新動向や今後の展望について講演いただきました。また、卒業生による実践報告や参加者同士の意見交換も行われ、教育現場での経験や課題を共有しました。学生にとっては、現場で活躍する卒業生の話を直接聞き、将来のキャリアを考える貴重な機会となりました。大手前大学では、今後も日本語教育の学びと交流の場を提供し、その発展に貢献していきます。



大手前短期大学 OTEMAE COLLEGE

【卒業生の活躍】プロバレエダンサー・佐野光里さんが国内コンクールで1位！

今年3・4月に開催された「2026年 第83回全国舞踊コンクール」バレエ第一部において、ライフデザイン総合学科を2020年に卒業したプロバレエダンサーの佐野光里さん(法村友井バレエ団所属)が、見事第1位を受賞されました。佐野さんは在学中から学業とバレエを両立し、オーストリア・ウィーンで開催された国際コンクールで優勝するなど優れた実績を重ねてきました。卒業後はバレエ団に所属し、現在はプロのバレエダンサーとして活躍されています。1位に輝いた佐野さんの「エスメラルダよりエスメラルダのヴァリエーション」と、受賞後のインタビュー記事を、右記リンク先よりご覧いただくことができますので、ぜひご覧ください。今後ますますのご活躍を心よりお祈りするとともに、このたびの栄えある受賞をお祝い申し上げます。

「エスメラルダより
エスメラルダの
ヴァリエーション」
はこちらから



受賞後の
インタビュー記事
(東京新聞)
はこちらから



大手前大学通信教育部 OTEMAE UNIVERSITY DISTANCE EDUCATION COURSE

通信教育部事務室の移転・改修工事竣工に伴うセレモニーを実施

通信教育課程の学生への履修相談体制の充実と利便性向上を目的に、通信教育部事務室をさくら夙川キャンパスL棟1階へ移転しました。併せて教育コンテンツ制作会社・株式会社DESも同フロアへ集約し、連携を強化しています。2025年10月17日(金)にはオープニングセレモニーを開催し、平野光俊学長、坂本理郎通信教育部長らの挨拶に続き、テープカットを実施し、福井要 大手前学園理事長の挨拶で締めくくられました。通信教育部は2010年の開設以来、学生数3,500人を超えており、今回の移転により、よりきめ細かな学生支援と教育環境の充実が期待されます。



【地域連携】宝塚市との包括連携協定締結について

5月12日(火)、宝塚市と大手前大学・大手前短期大学は、SDGsの達成に向けた取組を進めるとともに、地域課題の解決、地域活性化及び市民サービスの向上を図る協働・共創の取組を推進し、より持続的に発展できるまちづくりを実現することを目的として、包括連携協定を締結しました。今回の包括連携協定の締結は、健康栄養学部 松岡大介教授がこれまで宝塚市とコンポストによる食品廃棄物の削減・コンポスト堆肥を活用したイチゴの栽培、西谷地区産農作物を使った商品開発などに取り組んできたことが契機となり実現したものです。同日、宝塚市役所特別会議室で行われた締結式では、森臨太郎 宝塚市長、平野大学学長、福井短大学長よりそれぞれ連携に期待する思いが述べられました。大手前大学・大手前短期大学では、今後、様々な活動において宝塚市との連携を行ってまいります。



Information

大手前学園広報誌「Otemae Winds」について

既にお知らせのとおり「Otemae Winds」はNo47より卒業生の皆さまへの発送を取りやめております。

現在のところ9月・3月の年2回発刊しており、どなたでも学園HP、大学HP、短大HPからWeb版での閲覧が可能ですので、引き続きWeb版でご愛読いただきますようお願い申し上げます。

Web版はこちらをご覧ください

<https://gakuen.otemae.ac.jp/papers/index.html>

<https://www.otemae.ac.jp/about/newsletter/>

<https://college.otemae.ac.jp/about/newsletter/>



募金ご協力をお願い

大手前学園創立80周年記念事業募金

いよいよ本年度の2026年に大手前学園は創立80周年、大手前大学は開学60周年、大手前短期大学は75周年を迎えます。

この記念すべき節目の記念事業の一環として「在学生の奨学資金およびキャンパス整備資金の調達」のために記念事業募金の募集を行っております。

在学生の学生生活がさらに充実した日々となるように教育環境整備を進めるためには、より多くの方々からの深いご理解と力強いご支援が大きな支えとなります。

この趣旨にご賛同いただき皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●募集要項

- | | |
|----------|--|
| 1. 募金の名称 | 大手前学園創立80周年記念事業募金 |
| 2. 募金の目的 | 大手前学園奨学資金の調達
キャンパス整備資金の調達 |
| 3. 募金目標額 | 1.5億円 |
| 4. 募集の期間 | 2024年10月～2028年3月 |
| 5. 募金の種類 | 個人及び法人
個人・・・1口 5千円 法人・・・1口 5万円 |
| 6. 募集対象 | 在学生の保護者、教職員、同窓生、
学園関係者、団体・法人、一般有志など |

申込・払込方法

① インターネットからのご寄付

大手前学園のホームページからお申込みいただくと、クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy決済がご利用いただけます。大手前学園創立80周年記念事業募金ホームページよりお申し込みください。

大手前学園寄付サイト



② 振込用紙によるご寄付

振込通知書*に必要事項をご記入いただき、金融機関にてお振込みください。なお、次の指定金融機関をご利用いただけますと、手数料は学園が負担いたします。

指定金融機関:三井住友銀行、三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行

※振込通知書は下記事務局にお問い合わせください

【募金実績報告】 大手前学園創立80周年記念事業募金 2026年5月末実績 458件 / 52,601,000円

寄付金減免税措置について

大手前学園にご寄付いただいた場合、減免税措置(寄付金控除)が受けられます。

●個人からのご寄付

寄付者の皆様は「税額控除制度」と「所得税控除制度」のいずれかのメリットの大きい方を選択して確定申告を行うことで減免税措置を受けることができます。

税額控除制度

(年間の寄付金合計額^{※1}－2千円)×40%＝寄付金控除額^{※2}

計算式で出た寄付金控除額を所得税額から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする ※2 所得税額の25%を限度とする

所得税控除制度

(年間の寄付金合計額^{※1}－2千円)＝寄付金控除額

計算式で出た寄付金控除額を課税所得金額から控除

※1 年間総所得金額等の40%を限度とする

遺贈によるご寄付のご案内

大手前学園では、一般篤志家の方が所有されている資産の一部を、遺贈(遺言による寄付)による寄付として受け入れる制度を信託銀行と連携してご紹介しております。受取人として大手前学園を指定していただくことで学園の教育・研究活動の一層の充実発展に、ご遺産をお役立ていただくことができます。ぜひともご検討ください。

その他の寄付

- ASEAN留学生学修サポート募金
- 西宮市のふるさと納税制度を活用した大学連携事業「さとふるクラウドファンディング」
- 古本募金
- 奨学寄附金

●お問い合わせ

学校法人大手前学園 法人本部財務部／創立80周年記念事業事務局

西宮市御茶家所町6-42 TEL:0798-32-7560 Mail:shoujin@otemae.ac.jp

公式 SNS にて最新情報を随時配信!



大手前チャンネル
大手前大学・
大手前短期大学



otemae_univ
大手前大学



大手前大学 /
大手前短期大学



大手前大学
@otemae_univ



大手前短期大学
@otemae_college

